



令和元年7月3日

大鳥中学校便り 第5号

横浜市立大鳥中学校

限界突破 ～光はばたけ大鳥魂～ (第71回 体育大会スローガン)

第71回体育大会が、6月18日(火)に行われました。

梅雨の晴れ間の青空の下、多くの保護者や地域の方の応援をうけ、「限界突破」をめざし、自分の力の限りを発揮する生徒たちの姿をたくさん見ることができました。



私は、今回の体育大会で優勝をすることはできませんでした。しかし、体育大会が終わったとき、「楽しかった」「次は文化祭で優勝するぞ」という前向きな声やお互いをたたえ合う声などを聞くことができとてもよかったですと心から感じ、達成感も味わうことができました。

実行委員長として、委員会をまとめたり、全体に指示を出したりと慣れないことばかりでとても大変でしたが、苦勞したからこそ感じられるものがあるということも私なりに学ぶことができました。

今回の貴重な経験をこれからの中学校生活や高校、その後の生活にも生かしていきたいと思っています。

1、2年生は、まだこれからも体育大会はあります。今回よりもよいものにするために、いつもはなかなか話せない人とも話せるような場にしてほしいと思います。運動が得意な人も苦手な人も盛り上がるような体育大会を作り上げて欲しいと思います。

(体育大会実行委員長 3年 田口 満里菜)



僕たち1年生は今回の体育大会が初めての体育大会でしたが、学年練習や予行練習では、自分たちができる限り、一生懸命練習することができました。そして、体育大会準備でも2、3年生の役に立つことができましたと思います。

体育大会当日は、自分たちで考えて行動することはあまりできませんでした。学年練習でやった流れに沿って入退場や競技をすることができました。

学年種目の全員リレーではみんなで1位を目指したことで絆が深まった気がしました。

結果的には、みんなが本気になれたよい体育大会になったと思います。

来年は、2年生としての自覚を持ち、お互いを応援し合える体育大会を作っていきたいと思っています。

(体育大会実行委員
1年学年代表 福治 琉)



私は体育大会を通して、中心としてまとめる大変さを改めて感じました。学年練習や予行練習でも臨機応変な動きが求められましたが、クラスや学年への指示がすぐに通らないことがありました。しかし、体育大会当日はみんな自分の競技がある中、練習よりも指示がすぐに通る、それぞれが自分の役割を果たしていたと思いました。

また、一人ひとりが一生懸命競技に参加している姿、他の友達を全力で応援している姿が印象的でした。特に選手種目では戻ってきた選手に温かい言葉をかけている様子を見て、仲が深まったと感じました。

クラス全員で取り組んだ大縄では、結果は3組中3位でしたが、みんなで跳んだ45回は記憶に残るものだったと思います。

体育大会後のみんなの笑顔を見て、まとめるのは大変でしたが、頑張ったよかったです。みんなにとって記録よりも記憶に残る体育大会になっていたらうれしいです。

(体育大会実行委員 副委員長
2年 梶内 そら)

【第71回 体育大会 主な結果】

- 総合優勝 赤組 (1組) ● 学年優勝 1-3 2-2 3-1
- 応援旗デザイン賞 1-3 2-3 3-1 ● 色別対抗リレー 1位 黄組 (2組)
- 学年種目
 - ・ 1年 全員リレー 3組
 - ・ 3年 騎馬戦 1組
 - ・ 2年とびつき綱引き 2組
- 大縄跳び 1-1 2-2 3-1
- 学級対抗リレー 1-3 2-2 3-1

..... ミストを設置しました

熱中症対策としてグラウンドに2カ所、ミストを設置しました。体育の時間だけではなく、部活動の時などにも使用することができます。熱中症予防の一助になればと考えています。